

# 学会からののお知らせ

## 行事予定表

作成協力：資源探査用観測システム・宇宙環境利用研究開発機構

開催期日	行 事 名 (開催場所)
2013	
2/28-3/1	第27回大気圏シンポジウム (宇宙科学研究所) <a href="http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2013/0228_taikiken.shtml">http://www.isas.jaxa.jp/j/researchers/symp/2013/0228_taikiken.shtml</a>
3/4-5	第53回航空原動機・宇宙推進講演会 (倉敷市芸文館) <a href="http://www.jsass.or.jp/propcom/ap53/index.html">http://www.jsass.or.jp/propcom/ap53/index.html</a>
3/6-8	第62回理論応用力学講演会 (東京工業大学) <a href="http://www.jsce.or.jp/committee/amc/nctam/nctam62/">http://www.jsce.or.jp/committee/amc/nctam/nctam62/</a>
3/26-29	日本物理学会第68回年次大会 (広島大学) <a href="http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.html">http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.html</a>
4/8-12	9th IAA Symposium on Small Satellites for Earth Observation (Berlin, Germany) <a href="http://www.dlr.de/iaa.symp/desktopdefault.aspx/tabid-4802/">http://www.dlr.de/iaa.symp/desktopdefault.aspx/tabid-4802/</a>
4/18-19	日本航空宇宙学会第44期年会講演会 (東京大学) <a href="http://www.jsass.or.jp/web/annai/content0196.html">http://www.jsass.or.jp/web/annai/content0196.html</a>
5/19-22	第9回アジア太平洋国際燃焼会議 (ASPACC) (韓国, 慶州) <a href="http://www.aspace2013.com/">http://www.aspace2013.com/</a>
5/19-24	日本地球惑星科学連合2013年大会 (幕張メッセ) <a href="http://www.jpgu.org/meeting/index.htm">http://www.jpgu.org/meeting/index.htm</a>
5/29-31	第50回日本伝熱シンポジウム (ウェスティンホテル仙台および仙台トラストシティ) <a href="http://web.tohoku.ac.jp/nhts2013/index.html">http://web.tohoku.ac.jp/nhts2013/index.html</a>
6/2-9	第29回宇宙技術および科学の国際シンポジウム (29th ISTS) (名古屋国際会議場) <a href="http://www.ists.or.jp/2013/">http://www.ists.or.jp/2013/</a>
9/8-11	日本機械学会2013年度年次大会 (岡山大学) <a href="http://www.jsme.or.jp/2013am/">http://www.jsme.or.jp/2013am/</a>

## 2012年度会員の動向 (1月～12月)

入会月	会員種別	氏名	退会月	会員種別	氏名
9月	学生	今井 済			
1月	正会員	矢野 創			
2月	正会員	岡 利春			
4月	正会員	登尾 浩助	10月	正会員	浅野 等
	正会員	高橋 円		学生	緒方 裕大
5月	学生	森 雄飛		学生	J. Kamila Monika
6月	正会員	西山 靖浩	11月	学生	村山 健太
7月	学生	金杉 聡士		学生	山口 祐太
	学生	梅山 浩樹		学生	渡邊 拓実
	学生	永江 大輔		学生	高橋 修平
8月	正会員	北野 健		学生	渡邊 幸
	正会員	広崎 朋史		学生	引地 悠太
	正会員	酒井 秀樹		学生	野中 杏菜
	正会員	山下 裕司		学生	佐々木雄作
	学生	山崎 貴広		学生	武井 悠翔
	正会員	田丸 晴香	1月	学生	鹿毛あずさ
	学生	仙波 稔己	2月	正会員	小嶋 令史
	学生	渡邊 陽		正会員	樋口 健介
	学生	伊嶋 拓哉		正会員	中田 毅
	学生	水谷 優作		学生	伊東 俊充
	学生	吉岡 慎司		学生	白鳥 宰
	学生	金山 侑司		学生	戸井健太郎
	学生	坂本 義徳	3月	正会員	長嶋 剣
	学生	佐渡 拓行		学生	田中 利樹
	学生	坂本 一樹		正会員	花上 康宏
	学生	橋本 栄堯		学生	河野 剛士

	学生	水口 尚
	学生	永渕 圭介
	学生	植村 豪
	学生	世木 智博
	学生	林 小百合
	学生	尺長 憲昭
	学生	林 貴昭
	学生	服部 信彦
	学生	木滑 英司
	正会員	田中 哲夫
	正会員	新井 雅隆
	正会員	今村 伸
	正会員	奥村 隆一
	学生	古城 達則
	学生	平井 隆之
	学生	小川芽久美
	学生	中谷 浩之
	学生	杉本 賢司
	学生	長岡 直樹
4月退会	正会員	山下 雅道
5月退会	学生	池間 賢吾
12月退会	正会員	曾我 直弘
	学生	芳賀 智亮
	正会員	村上 寛
	学生	渡辺 理文
	正会員	松原 彰士
	正会員	佐藤 順一
	正会員	袁 章福
	正会員	北野 健
	学生	引地 悠太
	正会員	井口 学
	正会員	藤原 伸介
	学生	堀口 亮太
	学生	野中 杏菜
	正会員	小島 秀和
	正会員	佐藤 徳芳

■次号予告 Vol.30, No.2

(2013年4月末発行予定)

\*タイトルは全て仮題

特集：生態工学

巻頭言	依田 眞一 (JAXA)
次期有人宇宙システム開発に向けた不要ガス除去装置の研究状況	立原 悟 (JAXA)
火星地下居住構想とラン藻の活用	新井真由美 (日本科学未来館)
JAXAにおける二酸化炭素還元触媒の開発	島 明日香 (JAXA)
CO2還元に関して	横濱 明 (早大)
閉鎖系における魚類の生産と微小重力の影響	竹内俊郎, 遠藤雅人 (東京海洋大)
植物利用に関して	北宅善昭 (阪府大)

<技術解説講座>

加速度スイッチの作り方 (第二回)

—航空機実験利用を目指したマイコン制御装置の作り方  
夏井坂 誠 (JAXA)

■学会関連業務の連絡先

入退会, 住所変更等, 会員情報について. 論文投稿, 別刷り, 広告などのご案内, 学会誌掲載について全般.  
日本マイクログラビティ応用学会事務局 担当: 田尻  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-62-8-507 (有)ワーズ内  
Tel: 03-5950-1290 Fax: 03-5950-1292  
e-mail: jasma@words-smile.com  
ホームページ: <http://www.jasma.info/>

■新入会員の募集

是非, マイクログラビティに興味のある方にお声をかけてください. ホームページよりご入会ください.

(年会費: 正会員¥5,000 学生¥2,500 賛助会員 (一口) ¥30,000)

■編集後記

今回の「理論化・モデリングその3」は, 凝固・結晶成長と熱物性の分野についての特集です. この分野は微小重力環境利用実験が古くから数多くおこなわれてきていますので, 今回の特集でもこれまでの微小重力環境利用の成果が十分に活かされている内容になったと思います. 今後のISSでの長時間微小重力環境での実験の解析や研究計画に, 今回の特集記事を参考にして頂ければ幸いです. なお, 今号から, JASMA 誌は International Journal of Microgravity Science and Application に生まれ変わりました. 今後アジアを中心とした微小重力環境利用研究の成果を世界に向けて発信する雑誌へと発展させていきます. その意味でも, 今号では海外からも多くの記事を寄稿して頂き, 国際誌へのスタートを切れたかと思えます. この貴重な International Journal of Microgravity Science and Application 第1号へ, お忙しい中原稿をご執筆頂いた方々に深く感謝いたします.

(渡邊匡人)

今号では, 理論化・モデリング特集の第3弾ということで, 凝固・結晶成長や熱物性に関する内容について国内外からのご寄稿をいただきました. 渡邊先生, 学会事務局の田尻さんのハンドリングにより, ボリュームたっぷりの特集になったと思います. 宇宙ステーション等を利用した微小重力実験などを通じて知見が蓄積されていく中で, 5年後・10年後の同様な特集がこれから楽しみです.

(上野一郎)

本号は渡邊先生に頼りっぱなしで, 小職は貢献できていませんが, 多くの興味深い話題を集めて下さりありがとうございました. 特集も3号目となり, これまでの号を含めて多岐にわたる分野で数多くの研究を紹介できたかと思えます. 寄稿下さいました著者の皆様に改めて感謝する次第です.

(田辺光昭)